

定例教育委員会会議録

平成26年9月25日

境港市教育委員会（平成26年9月25日委員会会議録）

招集年月日 平成26年9月25日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基
③ 足立 ひと美 ⑤ 永井 美央
⑥ 遠藤 恵裕

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 門 脇 俊 史
学校教育課長 山 本 淳 一
学校教育課補佐 松 原 隆
学校教育課補佐 遠 藤 彰
生涯学習課長 沼 倉 加奈子
教育総務課係長 古 徳 健 雄

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 古 徳 健 雄

提出議案 なし

協議事項 全国学力・学習状況調査について
9月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

報告事項 9月の行事報告、10月の行事予定など

遠藤委員長 定刻になりましたので9月の定例教育委員会を始めます。

今月は議案がありません。用意していただきました全国学力・学習状況調査と9月定例市議会の教育委員会関係の答弁について進めてまいります。

まず初めに、先月も出ましたが全国学力・学習状況調査の分析結果の資料をいただきました。保護者には学校毎で市、県及び国の平均正答率や分析結果を付けてお示しするというので取り組んでいただいているはずです。事務局の方から説明がありましたらお願いいたします。

※全国学力・学習状況調査（小学校）について学校教育課補佐より報告

遠藤委員長 小学校のところについて、ご意見がありませんでしょうか。相対的には学力はついてきているという感じがします。どちらかという自尊感情は低いというイメージがありますが、児童への質問から、自尊感情が高いという分析結果が出ておりますが、大変良いことだと思います。

足立委員 この全国学力・学習状況調査の分析、取りまとめは、大変な労力だったと思います。学力向上の取り組みや家庭学習の定着など成果が出ていて大変すばらしいと感動しております。これが中学校にも繋がっていくような取り組みを頑張っていただければと思います。

谷田委員 私も同じで、経年比較で見ると確実に学力が向上していますので、その取り組みの成果が出ているのだと感じました。

永井委員 学力向上という意味で、学校側も意識して指導しておられるなという結果が出ている気がしました。運動会も保護者や地域の方が大勢参加しておられる様子を見させていただいて、学校に対しての期待や一緒にやっていくといった力も感じる場所があります。朝食を食べるだとか早寝早起きというのは、当然家庭の協力を得て、そこが生きていくベースなので、そういった連携も定着しつつあるのか

なという模様が、子供たちの回答や数字の中からも読み取れるので、確実なものにしていけたらいいなと思いました。

※全国学力・学習状況調査（中学校）について学校教育課補佐より報告

遠藤委員長 こんなに結果が小学校と違うものかなと見ていました。

谷田委員 中学校についても、24年度から25年度にかけては小学校と同じように伸びてきているのですが、今年になって下がったというところでは、分析結果を見せていただきますと問題点も浮き彫りになっているのではないかという気がしますので、そのこのところの対策をしっかりと実施していただければと思います。

足立委員 私も同感でして、“自分には、よいところがあると思いますか”に対する肯定的な回答が下がっているのも気になりますが、“友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか”も県や全国に比して低い数値というのは気になるところです。目先の点数を上げるということよりも、こういうことの方が大事ではないかと思うところです。

遠藤委員長 確かに、小学校では高くても中学校では下がっているというのは、原因が気になるところです。教科の点数とは別に大事なところとといいますか、生き方にも関わってくる場所ですから。前向きに生きるということ、前向きに学校生活を送るということを、色々な機会で教えていくこと、培っていくことが大事なことかとは思いますが。

「境港市の教育」の中に、めざす子ども像として“心豊かで、たくましい子ども”、“夢や希望を持ち、よりよく生きようとする子ども”を入れた渡邊憲二当時課長は、中学校出身で、子どもたちの日常のことをよく見て感じたことが、一番大切であると考えた上で、このことを入れたということを出しておりました。先生方もなかなか意識することにはならないかと思いますが、頭の片隅にでも置いていただければというところです。

佐々木教育長

小学校の成績が予想以上に高かったので、私自身も驚いているところです。かつて境港市の平均点が、県の平均点を超えること自体がほとんどない。国語Aに限ったことで言えば、全国一の秋田県よりも高いという状況がなぜ出たのか。子どもたちは毎年違うわけで、年なりというのはあるのですが、たまたま優秀な子が揃ったということではないと思っております。小学校の評価を見直そうという動きがありまして、中浜小学校、余子小学校、誠道小学校が3段階であった学習評定を5段階に変えていっている。それは、子どもの学習状況をより保護者にきちんと説明しなければならない。説明できるようにするためには、自分たちも子ども達をしっかりと見て、こういう手立てを子ども達にはしているのですよということが言えないといけない。そういう意識が市内に広がってきている。小学校というのは、すべて担任がほとんどの教科を持っていますので、学校が全体になって研究、同じ方向に向かっていくということが持っていやすい。それに比べて中学校というのは、どうしても教科担任に任せっきりになる。経験の少ない先生もおられるわけですが、学校として学力向上に全体で向かっていく姿勢、意識を学校として高めていく努力をしないといけない。2教科ではありますが、小学校6年生がこの成績をとりましたので、3年後の中学校の成績がどうなるのかというのを突き付けられたという意識をすべての教師が持たなければならない。そのところを校長会で話して、境港市内の小中学校が一丸となって、一人一人に学習をさせていくことが重要だと考えます。

遠藤委員長

特に中学校の場合は教科毎になりやすいので、全体での授業研究を本気になってやらないといけないと思います。議会のことについて、報告はありますでしょうか。

※9月定例会市議会教育委員会関係質問答弁について佐々木教育長より報告

遠藤委員長

では、報告事項をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長 各報告

遠藤委員長

質問はありませんでしょうか。

鬼太郎カップ、去年は韓国、ロシア両方とも来られなかったが、今年はロシアが来られるのですね。

以上で予定していた議題は終了しましたので、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。

※遠藤委員長より、退任あいさつ